

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム やまびこ

目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 12 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなると、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	夜間の非常災害時に、夜勤者1人で9人の利用者を安全に避難誘導させることが、利用者の重度化で困難になってきているので、対策を検討し対応していく。	消防署の協力と指導を得て、連携体制を取り、民家改造型で内部構造が複雑のため、避難経路や避難場所のマニュアル化と、利用者の重度化を、自力(青)、手引き(黄色)、車椅子(赤)と居室前に色で掲示し、地域住民に避難場所での見守りをお願いしていく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出支援	利用者の重度化が進み(介護度4.1)全員で出掛けることも難しくなり、個別の外出支援になってきているので、出かける回数を増やすことを検討していく。	近所を車椅子で散歩に同行して頂けるボランティアを要請したり、ベランダを工夫して、日光浴が出来るようにする等、利用者に外気の風に触れてもらい、気分転換が出来るような支援に取り組む。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。